

お子さんを支える様々な仕組み

▶特別支援教室（サポートルーム）

集団活動への参加が困難だったり、コミュニケーションに課題があるお子さんが、在籍校に設置されたサポートルームで、一人ひとりの困難さに応じた個別指導計画をもとにスキルを学びます。

▶ペアレント・トレーニング

発達障がいがあるお子さんの保護者を対象としたグループ学習会です。こどもを正しく理解し、好ましい関わり方を身に付けるため、心理・教育の専門相談員とともに、2時間×6回程度のプログラムで学習します。

▶就学支援シート

ご提出いただいた就学支援シートをもとに、お子さん一人ひとりの個性を生かすための教育に活用します。発達の特性等配慮が必要なお子さんの「個別指導計画」を作成するにあたって、大切な参考資料とさせていただきます。

▶サポートブックかけはし

幼児期から大人になるまでの、生い立ちや医療・療育・教育などの情報を整理し、継続した支援を受けるためのツールとして活用するとともに、成長の記録としても活用できます。大田区のホームページからダウンロードして作成できます。



詳しくはこちら▶



相談窓口

相談の
秘密は
守ります

学校生活の中での相談

▶各学校スクールカウンセラー

概ね週に1日または2日、通学先の学校で心理専門職の立場からお子さんや保護者からのご相談に応じます。

▶特別支援教育コーディネーター

各学校の特別支援教育の窓口です。学校の中で、特別支援教育を中心となって推進します。

▶教育センター 大田区池上1-32-8 池上会館4階

- 教育相談 03-5748-1201
- 就学相談 03-5748-1202

相談受付時間

教育相談 月曜～金曜 午前9時～午後7時
土曜・日曜 午前9時～午後5時
就学相談 月曜～金曜 午前9時～午後5時
(いずれも年末年始・祝日を除く)
心理相談員・教育相談員がご相談に応じます。

学齢期の発達障がいに関する相談

▶障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ

大田区中央4-30-11 03-6429-8524

小学生

お子さんの発達が
気になる方へ
気軽に相談
しませんか？



【発行】第10版

大田区立障がい者総合サポートセンター 電話：03-6429-8549

大田区

こんなことはありませんか？



こだわりが強い

忘れ物が多い
準備や
片付けが苦手

書き写すことが
苦手



順番が
待てない

人と合わせる
動きが苦手

知的な遅れ
をとまなうことも
あります

それぞれの障がいの特性

自閉症スペクトラム障害 ASD
広汎性発達障害
(アスペルガー症候群・自閉症など)

- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、
こだわり、興味・関心のかたより

※このほか、トゥレット症候群や
吃音(症)なども発達障がいに含まれます。

注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁
(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する
(考えるよりも先に動く)

学習障害 SLD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、
全体的な知的発達に
比べて極端に苦手

場の状況が
よめない



落ち着かない
立ち歩く

うまく
遊べない



気が散る

すぐ
かっとなる



なわとびや
はさみなど
物をうまく
使えない



計算が苦手
よく間違えたり
位取りが混乱する

聞き逃し
聞き間違いが
多い



たどたどしく読む
読み間違いや
書き間違いが多い



こどもの発達の過程はみな同じではありませんが、
行動面や対人関係、学習面で気になることはありませんか？
保護者の育て方やしつけなどが問題ではなく、
お子さんに発達の特性があるために起こっている場合があります。
適切な支援を受けることによって、より充実した学校生活を
送ることができるようになります。

**お子さんにとって生活しやすい環境を考えます！
相談しましょう！**